

好きです!

南関三小



学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力

考える力

やり抜く力

南関三小に収穫の秋 Part 2

秋を迎え、南関第三小学校でも子供たちがいろいろな作物を収穫することができました。前号に引き続き紹介します。

5年生稲刈り

10月11日（金）に、5年生は待ちに待った稲刈りを行いました。子供の作文からは「最初は、かまの使い方が分からず、ギコギコと何度も音を立ててかかっていました。その時、地域の協力者の先生から『手前にサッと引くといいよ』と教えてもらいました。すると、早くすることができました。」と地域の方と交流し学んでいく様子が伝わってきました。稲刈りをした後は天日干しをしました。振り返りの感想では、地域の方への感謝や収穫したお米を食べることへの楽しみが述べられました。

お米先生の福山正英さんに播種から田んぼの管理まで大変お世話になりました。また、当日に稲刈りの仕方を教えたり、お手伝いしたりしていただいた相谷区の方々や婦人会や保護者の皆様大変ありがとうございました。



脱穀

10月28日（月）に、5年生は地域の稲作を教えていただく先生方のご協力を得て、掛け干ししていたお米の脱穀を行いました。脱穀機のおかげで、作業は順調に進んでいきました。社会科では、機械化されていなかった時代の稲作について学んでおり、その有り難さを感じた子供たちでした。脱穀の作業後に、子供たちからは次のような感想が聞かれました。「稲を入れる機械は、自動でどんどん入っていくから手が入ったらいたそうだな、と思いました。」「かけ干しから、稲を取りはずす作業を夢中になって、手が止まらないくらいがんばりました。」「脱穀が終わるまで、稲を運びつづけたことを、地域の先生からほめてもらいました。この言葉は、忘れません。」

12月6日（金）、授業参観の日に「おむすびの会」を実施し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えていきます。



4年生が総合的な学習の時間で認知症絵本教室

4年教室で認知症絵本教室がありました。介助体験に引き続き、社会福祉協議会の方に来ていただき、「福祉」について学習しました。

授業では、認知症について知り、相手を大切に接し方を学ぶことができました。どうやって接すればよいか考える中で、「優しい言い方をする。」「認知症の方が物を無くした時も相手の話を聞いて、相手が見つけられるように一緒に探す。」など子供たちは相手のことを思い、相手の立場に立って考えた感想をたくさん発表しました。人と接しつながらることの大切さをじっくり考える機会となりました。